

助産所での出産を考えている方は
以下の項目をチェックしてみましょう!

- 合併症がある (喘息、甲状腺機能異常など)
- 感染症がある (B型肝炎、C型肝炎、HIV等)
- 子宮筋腫がある。または子宮に異常がある
- 子宮の手術をしたことがある (筋腫核出など)
- 帝王切開をしたことがある
- 血液型がRh(-)である
- 前置胎盤といわれている
- 胎児に異常がある (胎児発育遅延、奇形など)
- 羊水に異常がある (羊水が多い・少ないなど)
- 妊娠経過に異常がある (高血圧、高血糖など)
- 多胎妊娠である (ふたご、みつごなど)
- 逆子(骨盤位)がなおらない

※以上の項目に1つでもあてはまる方は、
助産所での出産をすることができません。
質問にはお答えします。

さらに次の項目もチェックしてみましょう。

- 喘息の既往がある
- 不妊治療による妊娠である
- 高齢初産である (35歳以上)
- 前回の妊娠・出産で異常があった
(早産、胎児異常、出血多量など)

※以上の項目にあてはまる方は、
相談に応じてとなります。

助産所をお探しの際は、
<http://www.midwife.or.jp/index.html>
日本助産師会ホームページをご覧ください。

助産所での出産を 考えている方へ

助産所について
知っていますか?



社団法人 日本助産師会

〒102-0071 東京都台東区鳥越2丁目12-2
TEL 03-3866-3054 FAX 03-3866-3064

助産所では……

助産師が正常な妊娠・分娩経過のお手伝いをさせていただきます。

正常な妊娠・分娩とは……

以下の条件を満たして、妊娠中を健康に過ごし、妊娠37週未満で42週未満の分娩のことをいいます。

- 逆子(骨盤立)ではない
- ふたご・みつごではない
- 合併症がない
- 胎盤の位置に問題がない

妊娠前の既往や前回分娩が吸引分娩や出血多量などで順調でなかった場合、今回の妊娠経過中に貧血やその他の異常を指摘されている方の場合、嘱託医と相談しながら様子を見ます。



妊婦の診断

母親学級
・両親学級

乳房ケア

家庭訪問

妊娠週数に応じた妊婦健診

妊娠中2回以上は、嘱託医あるいは嘱託医療機関の健診を受けていただきます。

出産の介助
助産所あるいは自宅

思春期相談や性教育
更年期の相談にも応じます

元気な赤ちゃんを両手で抱き、健やかな育児をスタートしていただくために、ご一緒に安全で快適なお産を考えていきましょう。

妊娠期間中や出産中に予想外の事態が起こった場合、助産師の判断で病院の出産となることがあります。

助産所(助産院)では、妊娠期から産褥期まで継続的に助産師が健診や保健指導を行い、女性と家族が安心して赤ちゃんを産み育てるお手伝いをさせていただきます。